

和歌山県の 人と自然をつなぐシンポジウム ～なぜ問題？ 外来生物を考えよう～



提供：環境省



和歌山県 PR キャラクター
「きいちゃん」

日時

令和2年1月19日（日）13：00-16：00（開場12:30）
ガーデンホテルハナヨ「ハナヨアリーナ」（和歌山県田辺市文里2丁目36-40）

入場 無料
事前申込優先
（定員 300 人）

■講演：「外来生物はなぜ増えるのか？なぜ防除するのか？」

五箇 公一（国立研究開発法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生態リスク評価・対策研究室 室長）

■事例発表：「アフリカツメガエルの駆除活動について」

和歌山県立田辺中学・高等学校 生物部

■情報提供：「バラ科樹木を食い荒らすクビアカツヤカミキリとは！？ 和歌山県での取り組みについて」

江畑 真美（和歌山県果樹試験場うめ研究所 研究員）

「紀南のアライグマについて」

鈴木 和男



あの各種メディアで有名な
“ダニ先生”が登場！！

■パネルディスカッション：「外来生物問題とその対策について」

コーディネーター 武内 和彦（東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授）

パネリスト 五箇 公一（国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生態リスク評価・対策研究室 室長）

守分 紀子（生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策
プラットフォーム侵略的外来種評価技術支援機関 ヘッド）

内山 りゆう（ネイチャー・フォトグラファー）



和歌山県

平成28年度から5回シリーズで開催しています。

今年のテーマは「外来生物問題」

人と外来生物のかかわりを考えます。

プロフィール



会場内に外来生物を
展示しているよ♪

和歌山県 PR キャラクター
「きいちゃん」



五箇 公一

国立研究開発法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室 室長
国や自治体の政策にかかる多数の委員会及び様々な大学の非常勤講師を勤めるとともに、テレビや新聞などマスコミを通じて環境科学の普及に力を入れている。
著書に『クワガタムシが語る生物多様性』（集英社）、『終わりなき侵略者との闘い～増え続ける外来生物』（小学館）などがある。



守分 紀子

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES) 侵略的外来種評価技術支援機関ヘッド
IPBES による生物多様性及び生態系サービスについての世界的な評価報告書の作成支援に携わる。これまで、環境省において生物多様性条約やラムサール条約などの自然環境保全に関する国際協力分野等を担当



武内 和彦

東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長。中央環境審議会会長、日本学術会議副会長、などを兼務。2017年、日本農学賞・読売農学賞などを受賞。
著書に『世界農業遺産—注目される日本の里地里山』（祥伝社新書）、『日本の自然環境政策—自然共生社会をつくる』（東京大学出版会、共編著）などがある。



内山 りゅう

ネイチャー・フォトグラファー
“水”に関わる生き物とその環境の撮影をライフワークとしている。特に淡水にこだわり、図鑑や写真集などを精力的に発表する。写真集に『アユ 日本の美しい魚』（平凡社）、『大山椒魚』（ビブロス）など、著書に『田んぼの生き物図鑑』（山と溪谷社）、『さかなのたまご』（ポプラ社）などがある。自然や生き物に関するテレビ番組の企画・出演も多い。平成22年度和歌山県文化奨励賞を受賞

『シンポジウム』申込書

FAXまたは**メール**にてお申込みください。(申込締切：令和2年1月14日(火))

※FAXの方は、下記申込書に必要事項を記載の上、送信ください。※定員になり次第、受付を終了します。

※記載いただいた情報は、和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム以外の目的には使用しません。

FAX 073-428-0960 ……メール **sizen@wbs.co.jp**

しめい
氏名：

(〒 —)

住所：

TEL：

E-mail：

来年度の本シンポジウムの案内送付を希望されますか。(はい・いいえ)

お問い合わせ ▶ 和歌山県自然環境室 TEL.073-441-2779